

No	25	分類	2-(1)-ア	資料名	小さな カレンダー	学年	2年	領域	道徳	3-(1)
----	----	----	---------	-----	-----------	----	----	----	----	-------

1 ねらい

- 阪神・淡路大震災のときの様子から、命の大切さや生きることの大切さに気づく。

2 趣旨

- 阪神・淡路大震災で、親しかったみっちゃんを失った作者のつらさや悲しみに共感させながら、かけがえのない命について考えさせる。
- みっちゃんとの楽しかった思い出を通して、生きていることの喜びや命の大切さに気づかせるとともに、みっちゃんに歌を届けた学級の友だちの思いに共感させる。

3 配慮事項

- 防災教育副読本『あすに生きる』を用いて、阪神・淡路大震災の被害の状況や、学校も地域の人々の避難所として重要な役割を果たしていたことなどについての理解を深めておきたい。
(参考『ぼくの町がなくなってしまった』『とてもこわかったよ』『ありがとう』等)

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 阪神・淡路大震災について知る。</p> <p>2 やっと学校が始まった時のことについて話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">みっちゃんがなくなったと聞いて、作者はどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なくなったことが信じられない。 ・会えなくなって悲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が知っている阪神・淡路大地震の様子を発表させ、教師が東日本大震災と関連づけたり、写真等を用いたりするなど、補足説明する。 ・みっちゃんの姿が見えなかったときの作者の不安な気持ちを感じ取らせる。 ・みっちゃんがなくなったという事実を知ったときの驚きや悲しみに共感させる。
<p>2 みっちゃんと過ごした日々を思い出している作者の気持ちを考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">みっちゃんのことを思い出している作者は、どんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊んだことが楽しかった。 ・みっちゃん、ありがとう。 ・もう遊べないことが信じられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みっちゃんとの楽しいできごとが、やがて悲しみに変わっていく作者の心の変化をとらえさせる。
<p>3 「小さな カレンダー」を歌っている作者の、みっちゃんへの思いについて考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作者は、どんな気持ちで歌を歌っているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌声がみっちゃんまで届いてほしい。 ・みっちゃんのことを忘れない。 ・天国でも元気でいてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みっちゃんのことを思いながら、心を込めて歌っている作者の思いに共感させる。

5 参考

- 指導にあたって、「心の教育緊急会議」の提言の趣旨を生かしながら、「あすに生きる」(平成9年)や「震災を生きて」(平成8年)、『命の大切さ』を実感させる教育への提言(改訂版)』(平成19年)などの活用を図りたい。